

3 財別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

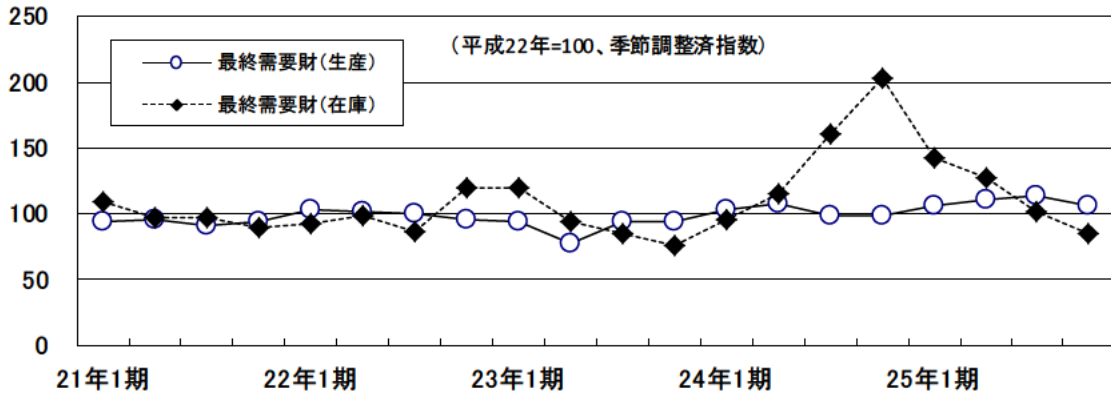
1 最終需要財

平成 25 年の最終需要財の生産指数は 109.4 で、対前年比 6.2%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 106.7（対前期比 7.9%増）、2 期 111.4（同 4.4%増）、3 期 113.4（同 1.8%増）、4 期 106.1（同 6.4%減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 113.8 で、対前年比 21.1%低下しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 142.3（対前期比 29.9%減）、2 期 127.1（同 10.7%減）、3 期 102.6（同 19.3%減）、4 期 85.6（同 16.6%減）となりました（表 11）。



1-1 投資財

平成 25 年の投資財の生産指数は 117.9 で、対前年比 3.9%上昇しました（表 5）。

また、在庫指数の年平均は 143.6 で、対前年比 22.4%低下しました（表 7）。

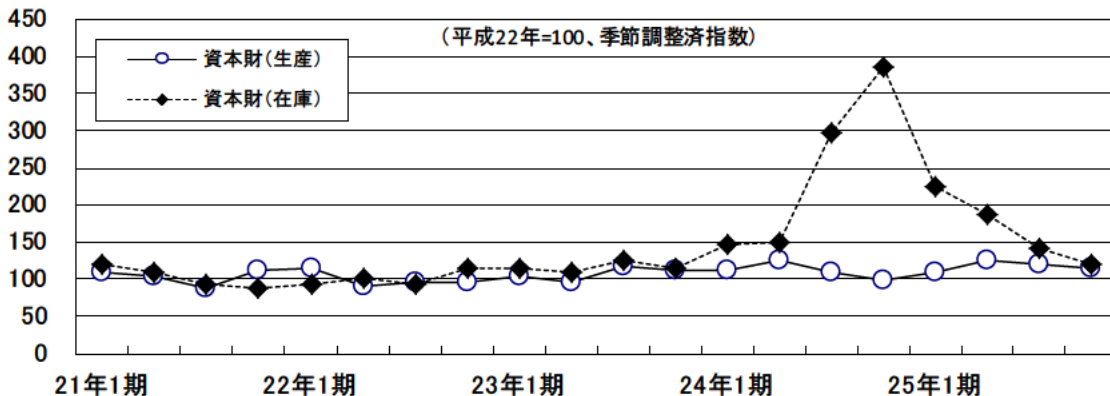
1-1-1 資本財

平成 25 年の資本財の生産指数は 117.1 で、対前年比 5.9%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 109.5（対前期比 12.4%増）、2 期 126.4（同 15.4%増）、3 期 119.7（同 5.3%減）、4 期 113.7（同 5.0%減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 167.5 で、対前年比 32.1%低下しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 224.9（対前期比 41.8%減）、2 期 186.2（同 17.2%減）、3 期 141.4（同 24.1%減）、4 期 119.0（同 15.8%減）となりました（表 11）。



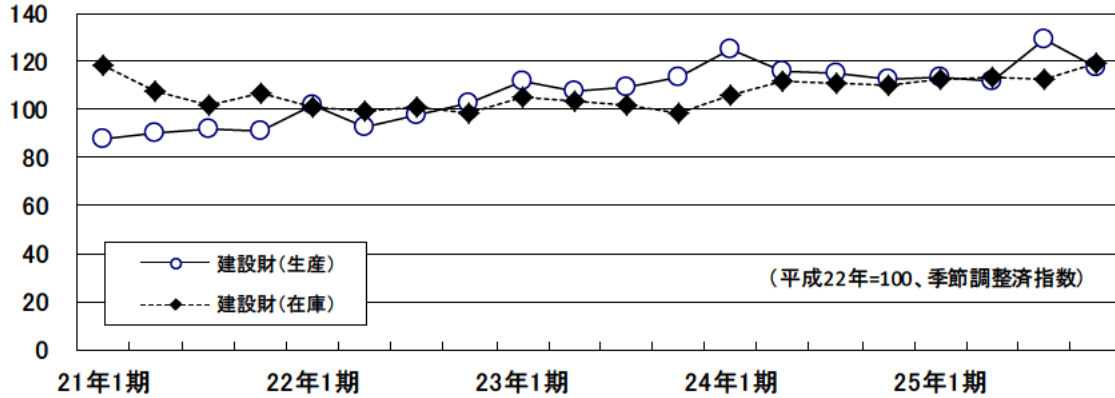
1-1-2 建設財

平成 25 年の建設財の生産指数は 119.1 で、対前年比 0.8% 上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 113.3（対前期比 0.8% 増）、2 期 111.5（同 1.6% 減）、3 期 129.5（同 16.1% 増）、4 期 117.7（同 9.1% 減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 114.5 で、対前年比 4.4% 上昇しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 112.5（対前期比 1.9% 増）、2 期 113.3（同 0.7% 増）、3 期 112.3（同 0.9% 減）、4 期 119.6（同 6.5% 増）となりました（表 11）。



1-2 消費財

平成 25 年の消費財の生産指数は 104.6 で、対前年比 7.9% 上昇しました（表 5）。

また、在庫指数の年平均は 97.1 で、対前年比 20.0% 低下しました（表 7）。

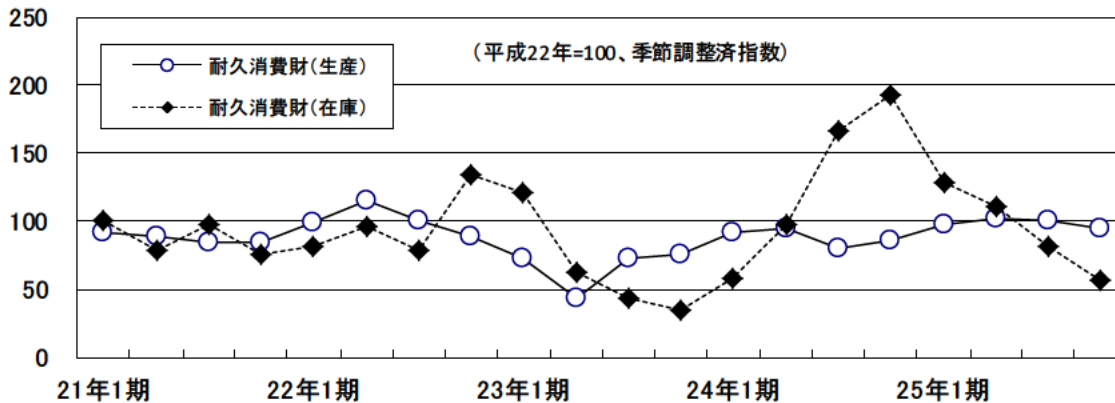
1-2-1 耐久消費財

平成 25 年の耐久消費財の生産指数は 98.3 で、対前年比 11.1% 上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 97.8（対前期比 13.7% 増）、2 期 101.5（同 3.8% 増）、3 期 100.3（同 1.2% 減）、4 期 94.4（同 5.9% 減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 92.5 で、対前年比 25.9% 低下しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 128.2（対前期比 33.5% 減）、2 期 110.3（同 14.0% 減）、3 期 80.9（同 26.7% 減）、4 期 56.5（同 30.2% 減）となりました（表 11）。



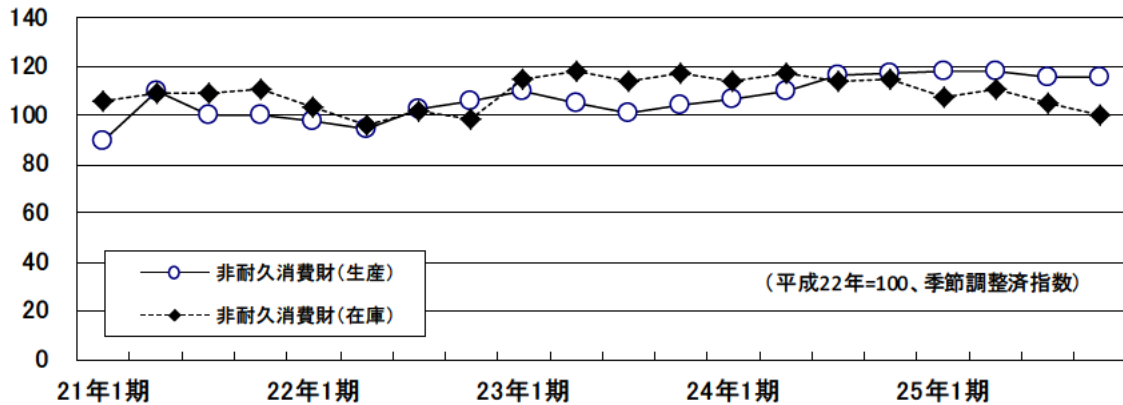
1-2-2 非耐久消費財

平成 25 年の非耐久消費財の生産指数は 117.0 で、対前年比 3.3%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 118.2（対前期比 1.2%増）、2 期 118.2（同 0.0%横ばい）、3 期 115.4（同 2.4%減）、4 期 115.4（同 0.0%横ばい）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 105.4 で、対前年比 8.3%低下しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 107.4（対前期比 6.7%減）、2 期 110.3（同 2.7%増）、3 期 104.8（同 5.0%減）、4 期 99.7（同 4.9%減）となりました（表 11）。



2 生産財

平成 25 年の生産財の生産指数は 117.9 で、対前年比 4.5%上昇しました（表 5）。

また、在庫指数の年平均は 112.3 で、対前年比 0.9%低下しました（表 7）。

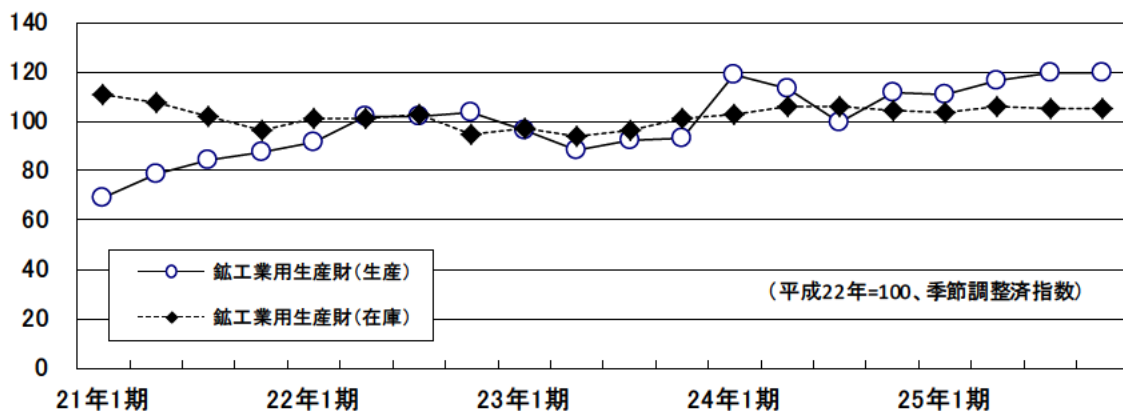
2-1 鉱工業用生産財

平成 25 年の鉱工業用生産財の生産指数は 116.5 で、対前年比 5.0%上昇しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 110.8（対前期比 0.9%減）、2 期 116.9（同 5.5%増）、3 期 119.7（同 2.4%増）、4 期 119.5（同 0.2%減）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 105.3 で、対前年比 0.5%上昇しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 103.9（対前期比 0.3%減）、2 期 106.1（同 2.1%増）、3 期 105.2（同 0.8%減）、4 期 105.6（同 0.4%増）となりました（表 11）。



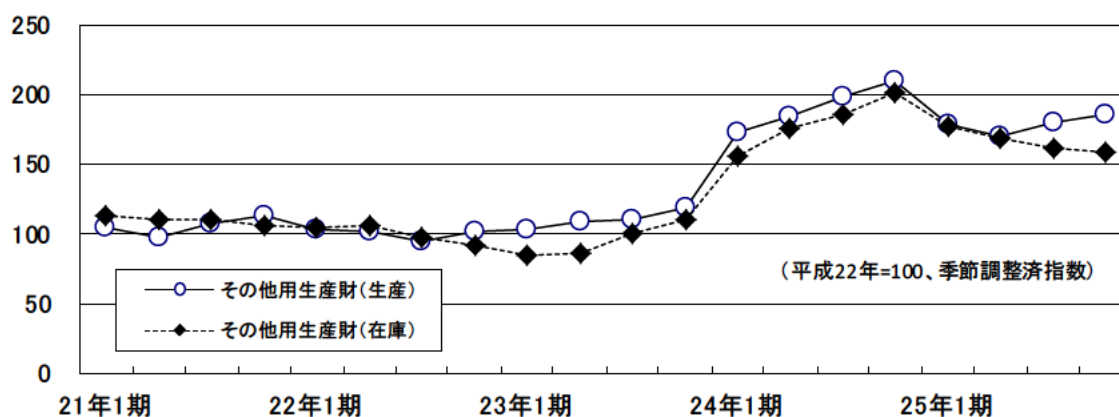
2-2 その他用生産財

平成 25 年のその他用生産財の生産指数は 178.7 で、対前年比 7.0%低下しました（表 5）。

四半期別にみると、1 期 179.4（対前期比 14.9%減）、2 期 169.7（同 5.4%減）、3 期 180.5（同 6.4%増）、4 期 186.2（同 3.2%増）となりました（表 9）。

また、在庫指数の年平均は 166.7 で、対前年比 6.7%低下しました（表 7）。

四半期別にみると、1 期 177.3（対前期比 11.7%減）、2 期 168.9（同 4.7%減）、3 期 161.5（同 4.4%減）、4 期 158.5（同 1.9%減）となりました（表 11）。



**「季節調整」
とは？**

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？
例年、年末年始のある12月、1月、ゴールデンウィークのある4、5月、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。

これを「季節調整」といいます。